

CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	ふじみ野市文化施設整備事業の内	階数	地下1階地上4階
建設地	埼玉県ふじみ野市	構造	RC造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	245 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,900 時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年8月 予定	評価の実施日	2021年10月22日
敷地面積	7,122 m ²	作成者	岡本賢吾
建築面積	2,819 m ²	確認日	2021年10月25日
延床面積	7,434 m ²	確認者	長澤 秀作



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

100% 98% 98% 98%

0 46 92 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.2

Q1 室内環境 Q1のスコア = 2.9

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー LR1のスコア = 2.8

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.3

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	建物の機能上ボリュームが大きくなる集会場用途の建物であるが、全体形状を分割することで、周辺の低層住宅と調和する景観づくりを行った。敷地内には十分な緑地空間と周辺住民に開かれた広場を設け、地域交流の場を計画した。	その他 特になし
Q1 室内環境	建物内外から発生する騒音・振動に対して、集会場機能として必要な遮音性能を確保。換気設備は基準以上の風量を確保し、室内の空気環境向上に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地内に十分な緑地空間を確保するとともに、地域交流のための広場を計画した。
LR1 エネルギー	自然光を積極的に取り入れるとともに、太陽光発電設備を設置し、災害時にも建物を使用できるよう配慮	LR3 敷地外環境 建物高さを極力抑え、周辺建物への日影の影響を極力低減。
Q2 サービス性能	同一建物の中でありながら、多様な場所で本を楽しめる内装計画とした。木調の温かみのある色彩としながら、塩ビタイル等を使用し、内装材の耐久性についても配慮を行った。各設備のメンテナンスルートを確保し、設備	
LR2 資源・マテリアル	耐久性のある構造材料を使用し、建物の耐用年数に配慮。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版
ふじみ野市文化施設整備事業の内(仮称)西地域文化施設

■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.2
Q1 室内環境							0.40			2.9
1 音環境						2.2	0.15	-	-	2.2
1.1 室内騒音レベル						1.0	0.40	3.0	-	
1.2 遮音						3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能						3.0	1.00	3.0	-	
2 界壁遮音性能						3.0	-	3.0	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						3.0	-	3.0	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						3.0	-	3.0	-	
1.3 吸音						3.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境						3.0	0.35	-	-	3.0
2.1 室温制御						3.0	0.50	-	-	
1 室温						3.0	0.38	3.0	-	
2 外皮性能						3.0	0.25	3.0	-	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御						3.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式						3.0	0.30	3.0	-	
3 光・視環境						3.0	0.25	-	-	3.0
3.1 昼光利用						3.0	0.30	-	-	
1 昼光率						3.0	0.60	3.0	-	
2 方位別開口						-	-	3.0	-	
3 昼光利用設備						3.0	0.40	3.0	-	
3.2 グレア対策						-	-	-	-	
1 昼光制御						3.0	-	3.0	-	
3.3 照度						3.0	0.20	3.0	-	
3.4 照明制御						3.0	0.50	3.0	-	
4 空気質環境						3.1	0.25	-	-	3.1
4.1 発生源対策						3.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質						3.0	1.00	3.0	-	
4.2 換気						3.3	0.30	-	-	
1 換気量		換気量30m ³ /h人として計画				4.0	0.33	3.0	-	
2 自然換気性能						3.0	0.33	3.0	-	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.33	3.0	-	
4.3 運用管理						3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視						3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御						3.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.2
1 機能性						3.4	0.40	-	-	3.4
1.1 機能性・使いやすさ						3.0	0.40	-	-	
1 広さ・収納性						3.0	-	3.0	-	
2 高度情報通信設備対応						3.0	-	3.0	-	
3 バリアフリー計画						3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性						4.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観						3.0	-	3.0	-	
2 リフレッシュスペース						3.0	-	-	-	
3 内装計画		公共施設として温かみと耐久性のある素材をCGを使って計画				4.0	1.00	-	-	
1.3 維持管理						3.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		防汚性のある内装材、外装材の採用				4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保						3.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.3	0.30	-	-	3.3
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.8	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		重要度係数1.25として計画				4.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						2.8	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔						2.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔						3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.2	0.20	-	-	
1 空調・換気設備						3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
3 電気設備						3.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法		建築設備耐震設計・施工指針に則った配管支持				4.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						3.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			2.9	0.30	-	-	2.9
3.1 空間のゆとり			3.0	0.30	-	-	
1	階高のゆとり		3.0	-	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	1.00	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			2.8	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		2.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.5
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		ポリュームの分割による周辺景観との調和と緑化	4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	広場状空地、歩行者空間の確保と夜間照明による安全性確保	4.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.0
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.8
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.85	4.5	0.20	-	-	4.5
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 0.97	2.1	0.50	-	-	2.1
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水		節水型器具、自動水栓、混合水栓の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60	-	-	3.4
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		ビニル床材 岩綿吸音板	4.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上げを分別しやすい計画	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県

重点項目シート

■使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	ふじみ野市文化施設整備事業の	BEE	1.1	BEEランク	★★★
------	----------------	-----	-----	--------	-----

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア			
3.0	+	3.0	=	6.0	
重点項目の各スコアの合計点					
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 		

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.0
埼玉県緑化基準に対応した緑地を計画し、外構部分からの熱の反射を低減。			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	3.0
<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	3.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	3.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	3.0
既存の緑地空間を保全するとともに、敷地内に地域の方が緑を楽しめる広場や散策スペースを確保。			

: 入力欄